

科目名	歯科英語		
授業担当者	八木 かおり		
開講時期	1年次後期、2年次前期		
指定単位(時数)	【授業方法/授業回数】	2単位(30時間)	【講義/15回】
単位認定基準	前半(7回まで)、後半(全範囲)1回ずつの筆記試験、スピーキング試験で評価し、各1単位を与える。		
成績評価基準	14回以上の受講をもって受験可とする。よって、未履修分は補習を受けて課題提出を行い、担当者の承認を得れば受験は有効となる。さらに試験においては得点60%以上を合格とし、それ以下は再試験1回を受験しなければならない。		
参考図書等	最新歯科技工士教本「歯科英語」 全国歯科技工士教育協議会編 医歯薬		

学習目標

歯科技工士の海外での活躍の場面で重要な英語を身近に感じながら、専門用語の修得と、コミュニケーション力を身につける。

授業計画

回	授業題目	授業内容
1	一般的な会話	なぜ英語が必要か、あいさつ、国際交流
2	一般的な会話	ショッピング
3	一般的な会話	海外の展示会に参加する
4	一般的な会話	海外で働く
5	歯科医院での会話	「歯が痛い」
6	歯科医院での会話	「入れ歯を入れたい」
7	歯科医院での会話	「歯ならびを治したい」
8	歯科医院での会話	「歯を白くしたい」 「歯と歯の間に隙間ができた」
9	2ヶ国語技工図鑑	歯の名前・歯の構造・歯式
10	2ヶ国語技工図鑑	クラウンの製作(間接法)
11	2ヶ国語技工図鑑	陶材焼付金属冠の製作
12	2ヶ国語技工図鑑	義歯の製作
13	2ヶ国語技工図鑑	歯科技工指示書 知っている便利な単語集
14	各種文書・電話・インターネットの基本	E-mail,FAX,手紙、封筒の宛名の形式
15	各種文書・電話・インターネットの基本	各種文書の作成、電話での会話、インターネットを利用する

・実務経験

本科目は英語教諭として実務経験のある教員による授業である

科目名	歯科技工造形学		
授業担当者	日置 誠		
開講時期	1年次前期、後期		
指定単位(時数)	【授業方法/授業回数】	2単位(32時間)	【講義/16回】
単位認定基準	前半(9回まで)、後半で1回ずつ、製作した作品を各々の時期に評価し、1単位を与える。		
成績評価基準	15回以上の受講をもって受験可とする。よって、未履修分は補習を受けて課題提出を行い、担当者の承認を得れば受験は有効となる。さらに試験においては得点60%以上を合格とし、それ以下は再試験1回を受験しなければならない。		
参考図書等	最新歯科技工士教本「歯科技工造形学」全国歯科技工士教育協議会編 医歯薬		

学習目標

美的感性を養い、想像力を培うとともに、歯科技工臨床に必要な基本的知識、技法を修得する。

授業計画

回	授業題目	授業内容
1	美とは	美について、歯科審美、人間の歯らしい歯とは何か？
2	歯の観察に至るまで	感覚器官と認知、見ることのメカニズム、対象をどうとらえているか
3	歯の形態表現(鉛筆デッサン)	準備と基本
4	歯の形態表現(鉛筆デッサン)	遠近法
5	歯の形態表現(鉛筆デッサン)	歯型彫刻用見本を描く
6	歯の形態表現(鉛筆デッサン)	歯型彫刻用見本を描く
7	歯の形態表現(鉛筆デッサン)	歯型彫刻用見本を描く
8	歯のスケッチと着彩	口腔の観察と着彩表現
9	顔の観察	解剖学的スケッチ
10	顔の観察	粘土を用いた造形表現
11	顔の観察	粘土を用いた造形表現
12	顔の観察	粘土を用いた造形表現
13	顔の観察	粘土を用いた造形表現
14	顔の観察	粘土を用いた造形表現
15	顔の観察	粘土を用いた造形表現
16	歯科技工と色彩	色彩の基本 色をみる

・実務経験

本科目は美術教諭として実務経験のある教員による授業である

科目名	情報リテラシー		
授業担当者	山下 圭三		
開講時期	1年次後期、2年次後期		
指定単位(時数)	【授業方法/授業回数】	1単位(30時間)	【講義/15回】
単位認定基準	すべての講義終了後、別日程にてプレゼンテーションを行い評価し、1単位を与える。		
成績評価基準	14回以上の受講をもって受験可とする。よって、未履修分は補習を受けて課題提出を行い、担当者の承認を得れば受験は有効となる。さらに試験においては得点60%以上を合格とし、それ以下は再試験1回を受験しなければならない。		
参考図書等	最新歯科技工士教本「歯科技工管理学」全国歯科技工士教育協議会編 医歯薬		

学習目標

歯科技工を行うにあたり、PCを有効活用するために必要な基本的知識を身につける。

情報の発信と共有を行えるコミュニケーションツールとしての優位性について理解する。

授業計画

回	授業題目	授業内容
1	PCの基本知識と操作	パソコンの起動、基本用語、OSと応用ソフト
2	PCの基本知識と操作	ウィンドウズの基本操作、キーボード操作
3	Word活用法	画面構成、例文入力と編集、保存
4	Word活用法	例文入力と編集、保存
5	Excel活用法	入力、関数、計算
6	Excel活用法	入力、関数、計算
7	Powerpoint活用法	プレゼンテーション製作
8	Powerpoint活用法	プレゼンテーション製作 発表
9	インターネット活用法	テレビ電話ソフト「スカイプ」の演習
10	インターネット活用法	テレビ電話ソフト「スカイプ」多地点会議、画面共有、ファイル送信
11	インターネット活用法	テレビ電話ソフト「スカイプ」多地点会議、画面共有、ファイル送信
12	ソフト活用法	映像編集の方法と録画機器の取り扱い
13	ソフト活用法	映像収集
14	ソフト活用法	映像の取り込みとソフトによる編集
15	ソフト活用法	映像編集処理
16	ソフト活用法	映像編集処理
17	ソフト活用法	映像編集完成・発表

・実務経験

本科目はPC講師として実務経験がある教員による授業である

科目名	コミュニケーション学		
授業担当者	田口 則宏		
開講時期	1年次後期		
指定単位(時数)	【授業方法/授業回数】	1単位(20時間)	【講義/10回】
単位認定基準	基礎知識を問う試験を実施し、1単位を与える。		
成績評価基準	9回以上の受講をもって受験可とする。よって、未履修分は補習を受けて課題提出を行い、担当者の承認を得れば受験は有効となる。さらに試験においては得点60%以上を合格とし、それ以下は再試験1回を受験しなければならない。		
参考図書等	最新歯科技工士教本「歯科技工管理学」全国歯科技工士教育協議会編 医歯薬 配布資料		

学習目標

将来医療者としてコミュニケーションを実践するために日常の個人や集団におけるコミュニケーション行動および医療におけるコミュニケーション行動を情報、記号、ノイズ、メディアなどを手がかりに理解を深め、メッセージの伝達、収集プロセスについて多面的に理解する

授業計画

回	授業題目	授業内容
1	対人コミュニケーション	コミュニケーション概論
2	対人コミュニケーション	コミュニケーションの手がかり
3	対人コミュニケーション	コミュニケーションのメッセージコード
4	対人コミュニケーション	日本人の感性とコミュニケーション
5	対人コミュニケーション	コミュニケーションの阻害因子
6	対人コミュニケーション	「聴く」と「伝える」
7	対人コミュニケーション	近言語コミュニケーション
8	対人コミュニケーション	メディアリテラシー
9	医療コミュニケーション	医療コミュニケーション(1)
10	医療コミュニケーション	医療コミュニケーション(2)

・実務経験

本科目は歯科医師として実務経験がある教員による授業である